
URCF (超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム) シンポジウム 2018

- 日 時：平成 30 年 6 月 1 日 (金) 13:00-17:00、交流会 18:00-20:00
※ デモ展示見学・体験 12:00-13:00、13:50-14:50
 - 会 場：日本科学未来館 7 階
未来館ホール、コンファレンスルーム土星、コンファレンスルーム天王星
東京都江東区青海 2-3-6 (<https://www.miraikan.jst.go.jp/guide/route/>)
 - 主 催：超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム(URCF)
国立研究開発法人 情報通信研究機構(NICT)
 - 後 援：総務省 (予定)
 - 参加対象：URCF 会員および一般
 - 参加費：無料 (交流会：3,000 円)
参加お申込みは、http://www.urcf.jp/contact_event/event_entry/ にて受付いたします。
 - 申込締切：5 月 23 日 (水) 17:00
(締切後、当日受付も可能です。ただし交流会のみ、満席の際はご希望に添えないことがある旨予めご了承下さい。)
 - プログラム
- 13:00～13:10 主催者挨拶
廣瀬 通孝 氏 (URCF 会長／東京大学大学院情報理工学系研究科 教授)
来賓挨拶
(総務省、調整中) (※注：来賓挨拶は宮本亜門氏の講演後になる可能性あり)
- 13:10～13:50 基調講演「VR とライブエンターテインメントの可能性」
宮本 亜門 氏 (演出家、振付師)
【概 要】 演出家として、舞台上で観客を物語の中に引き込み、没入させることが仕事です。
VR と身体表現とを合わせることで、意識していなかった人間の感性を高めることができるのではないかと考えています。その新しい表現方法を探ります。
- 13:50～14:50 デモ展示見学・体験&休憩
- 14:50～16:50 パネルディスカッション「VR/MR/AR の社会展開と超臨場感」
モデレータ：安藤広志 氏 (URCF 企画推進委員長／NICT)
パネリスト：
廣瀬 通孝 氏 (URCF 会長／東京大学大学院情報理工学系研究科 教授)
～バーチャルリアリティ教育センターの活動の立場から
久永 一郎 氏 (大日本印刷 (株)) ～ミュージアム等における VR 活用、VR 制作の立場から
長谷 大作 氏 (日本航空 (株)) ～乗務員・整備士訓練での AR 活用の立場から
木全 英明 氏 (NTT) ～スポーツ訓練における VR/AR 活用の立場から
酒井 清一郎 氏 (KDDI) ～リアルタイム遠隔体験における VR 活用の立場から
土屋 敏男 氏 (日本テレビ放送網 (株)) ～放送における VR 活用の立場から
【VR/MR/AR 活用事例の紹介】(約 60 分)
【VR/MR/AR の社会的価値と将来展開：ディスカッション】(約 60 分)
- 16:50～17:00 閉会挨拶
富田 二三彦 氏 (URCF 副会長／情報通信研究機構 理事)
(交流会会場へ各自移動)
- 18:00～ 交流会 天王洲アイル (レストラン「グランカフェ」)
東京都品川区東品川 2-3-15 第一ホテル東京シーフォート 1F
(https://www.e-tennoz.com/archives/cstm_shopguide/462)
- 問い合わせ：URCF 事務局 sec@urcf.jp にお問い合わせください。
- *****